

～スポーツの楽しみ方・関わり方を考える～市民ワークショップの実施報告

1 市民ワークショップの目的

スポーツ推進計画の策定にあたり、市民がスポーツをより身近に感じ、親しみやすくなるための取組及びスポーツを通じたまちづくりの取組に関して、市民目線からのアイデアや考え方を把握し、計画づくりの参考とするために、市民ワークショップを開催しました。

2 実施内容について

〈第1回〉テーマ：スポーツを通じて実現したいこと（スポーツをする目的）

実施日：平成30年11月17日（土） 場所：関・一つむぎ館第1会議室 参加者数：22名

スポーツを始めもらうための動機づけを考えるために、スポーツを通じて実現したいことについて意見交換を行いました。その主な内容は次のとおりです。

主な内容	詳細
スポーツを楽しむ	喜び・感動を体験できる、達成感を得る、趣味を増やす
健康づくり	健康維持、体力維持、ストレスの軽減、スポーツ観戦による気力向上、健康であれば家族の幸せにつながる、医療費の抑制、意識啓発
交流	仲間づくり、同世代・世代間・近隣自治体との交流、新たなコミュニティの創造、婚活イベントなど新しい出会い
地域振興	地域美化の協働、子どもを地域にひきつける
多摩市の魅力向上	市のPR、地域活性化、地元企業との連携によるまちおこし
教育・教養	子どもの心身の成長、社会性を身に付ける、子ども若者支援、情報収集、まちを知る（散歩）、興味を拡げる
見守り	スポーツを通じた見守り活動

〈その他の意見〉

- ◆スポーツ施設の改修・整備や利用システムの見直し、学校跡地などの公共施設の有効活用

〈第2回〉多摩市らしいスポーツの検討（より多くの人にスポーツを楽しんでもらえる取組）

実施日：平成30年12月2日（日） 場所：関・一つむぎ館第1会議室 参加者数：17名

多摩市らしさを活かして、スポーツをより多くの人に楽しんでもらえる取組について、意見交換を行いました。その主な内容は次のとおりです。

1) スポーツ施設で行うもの

取組	内 容
・武道館の畳を使ったスポーツ	・武道館を活用し、柔道のような競技スポーツから軽体操まで楽しめる機会をつくる。畳の上で行うスポーツは体への負荷が減り、参加しやすい。高齢者や幼児が参加しやすい。

2) スポーツ施設以外で行うもの

①公共施設を活用した取組

取 組	内 容
・公園や施設を活かしたスポーツ	・芝生のある公園が多い特性を活かし、自然を感じながらヨガや太極拳を行う。公園なので予約も不要なため気軽に楽しむことができる。 ・お花見などイベントとスポーツを組合せて開催することで、多くの人へスポーツに取り組む機会を提供する。また、様々なスポーツを知る情報発信・コミュニティ形成の場になる。
・既存の公園の有効活用	・多摩市には公園が多いが、一方で公園利用の規制が多く、十分に活用されていないため、利用しやすい公園にしてスポーツを楽しめる場所とする。
・学校開放によるスポーツに親しめる場所の整備	・小中学校の校庭の広さを活かし、スポーツの拠点を整備する。

②多摩市の地形や自然・盛んに行われているスポーツを活かした取組

取 組	内 容
・ウォーキング・ランニング	・坂道が多い本市の特徴を活かし、遊歩道や坂道で気軽に安全に、自然を感じながらスポーツを楽しむことができる。 ・スタンプラリーなどのイベントを活用すれば、家族で参加できたり、子どもも楽しむことができたりする。
・ラジオ体操×朝市	・多摩市で盛んに行われているラジオ体操の機会を活用し、公園などで朝市を同時開催することで、運動不足になりがちな主婦・主夫層などへスポーツ実施のきっかけづくりを与えることができる。また、地元の野菜などを販売すれば地産地消にもつながる。

3) その他

取 組	内 容
・民間企業と連携したスポーツ	・サンリオピューロランドやベネッセ、大学の持つ特性を活かして、子どもから高齢者まで参加できるスポーツ（イベント）を実施する。
・パラリンピックの競技種目になっているもの	・様々な障がい者スポーツの掘り起こしイベントを行い、障がいのある人を含めた交流の機会をつくる。これらの種目は高齢者でも取り組める種目が多く、高齢者の参加も期待できる。

〈第3回〉多摩市らしいスポーツを実現するために必要な取組

実施日：平成30年12月16日（日） 場所：関・一つむぎ館第1会議室 参加者数：17名

第2回で意見交換した多摩市らしいスポーツを実施することによって、どのような効果が期待できるのか、まちづくりにどのように活かせるのかなどを考えるために、多摩らしいスポーツを実現するための取組について意見交換を行いました。その主な内容は次のとおりです。

Aグループ1：ランニング・ウォーキング

	主 な 内 容
期待される効果	体力増進など健康づくり、スポーツをする習慣づくり
実現するための取組	コースあるいはコース周辺にカフェや休める場を整備する
協力者	市やボランティア
市民が取組めること	ボランティアとしてカフェの運営をする

Aグループ2：パラスポーツ

	主 な 内 容
期待される効果	障がい者への理解が深まる、高齢者と一緒にできる
実現するための取組	障がい者を一括りにしないこと(知的障がい・身体的な障がいなど)
協力者	多摩テレビでPRする、メディア、広報
市民が取組めること	障がい者スポーツに参加する、ボランティアをする

Aグループ3：武道館の畳を使ったスポーツ

	主 な 内 容
期待される効果	世代間交流、百人一首、なぎなたなど既存のスポーツの活性化
実現するための取組	交通の便をよくする、個人利用から団体利用に転換
協力者	バス会社（バスの本数を増やしてもら）、商店街（賞品の寄付）
市民が取組めること	企業に協力を依頼する、様々な種目の団体をつくる

Bグループ1：ウォーキング

	主 な 内 容
期待される効果	知人・友人ができる、家を出るきっかけづくり、多摩の魅力を知る
実現するための取組	ルート・時期の選定、実現するための協議会の発足、名称の考案
協力者	スポーツ団体（協議会の立上げ）、学生ボランティア、市
市民が取組めること	イベントへの理解「他人(ヒト)が来る」、隣人を誘う、自治会での参加

Bグループ2：学校開放（廃校）の活用→スポーツに親しむ

	主 な 内 容
期待される効果	人の往来・滞在が防犯につながる、若者が集える場所が市内にできる
実現するための取組	どこがどのように使えるのか可視化する、利用方法の簡略化
協力者	行政（用途変更）、周辺住民・施設管理者
市民が取組めること	スタッフとして運営を手伝う、競技内容の理解を深める

Bグループ3：公園を活用したスポーツ

	主 な 内 容
期待される効果	公園利用者が増え、「いこいの場」～人的交流の場となる
実現するための取組	利用内容の明確化、地域に迷惑をかけない仕組みの検討
協力者	近隣住民
市民が取組めること	楽しく利用する

Cグループ1：公園・遊歩道×スタンプラリー

	主 な 内 容
期待される効果	地域の魅力を知ることができる、世代間交流や企業のPRができる
実現するための取組	ツアーガイドの確保、多摩市の魅力を発信・案内できる人材の育成
協力者	企業、郷土研究をされている人材
市民が取組めること	市民で多摩の歴史に詳しい人が関わる、サークルをつくって参加する

Cグループ2：ラジオ体操×朝市

	主 な 内 容
期待される効果	健康維持、地域農業の活性化、友達をつくる事で情報を得られる
実現するための取組	ラジオ体操マップをつくる、情報を伝える・知ってもらふ必要がある
協力者	農家
市民が取組めること	参加する、情報を発信する(友達を誘う、SNSに書き込む)

Cグループ3：公園×スポーツ×お花見

	主 な 内 容
期待される効果	スポーツを始めるきっかけとなる、お花見の場で情報発信ができる
実現するための取組	大人の為の遊具の設置、障がい者も参加できるイベントにする
協力者	学校・教育委員会の協力、スポーツ団体
市民が取組めること	参加する、バスで一緒になる人(“バス友”)に伝えていく

Dグループ1：公園や施設を活かしたスポーツ(ヨガ・太極拳など)

	主 な 内 容
期待される効果	人気のない広場に人が集まることで防犯効果が得られる、賑わいづくり
実現するための取組	自治会で回覧板を回す、福祉館等でPR、環境整備(芝生など)
協力者	関係者(ヨガ、太極拳の連盟協会)
市民が取組めること	自治会への協力依頼、公園をキレイに使用する、自ら企画・参加する

Dグループ2：遊歩道や坂道を活かしたスポーツ

	主 な 内 容
期待される効果	地域の再発見、人気スポットができる
実現するための取組	ウォーキングコース(マップ)づくり、五輪コースの活用、宣伝の実施
協力者	オリンピック・パラリンピック大会組織委員会、地域タウン誌発行会社
市民が取組めること	友達を誘って参加する、インターネットで発信、自治会への協力依頼

Dグループ3：民間企業を巻き込んだスポーツ

	主 な 内 容
期待される効果	地域の活性化、集客力を高められる、若い世代からのスポーツの習慣化
実現するための取組	企業内の知合いを見つける、学校(小中高大)・企業・大学への協力依頼
協力者	民間企業、商工会議所、ボランティアセンター、小中学校、大学
市民が取組めること	口コミ&雑談、インターネットで発信、自治会への協力依頼